

## 優先課題①

性の多様性（LGBT 等）、障がいの有無、国籍など、互いの違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現（多様性の尊重、個人の尊厳）

### 優先課題①-SDGs 推進目標 1

（多様な性を理由とする偏見・差別をなくし、性の多様性が尊重された社会を実現する。）

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位	基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	多様な性を理由とする偏見・差別をなくし、性の多様性が尊重された社会を実現する。	性の多様性の尊重について理解促進に向けて取り組んでいる県内自治体（県・市町村）の割合	%	基準値 (R4)	1年目標 (R4)	2年目標 (R4)	目標値 (R12)		
				基準値・実績値	54.8%	54.8%	54.8%	100.0%	—



※指標について、令和 7 年度に最新値を取得予定。

### 【総評（案）】

SDGs 推進目標 1 について、沖縄県では、令和 2 年度に「沖縄県男女共同参画社会づくりに関する県民意識調査」において、性の多様性に関する調査を実施した。この調査では、性の多様性について、7 割以上の方が「性的少数者を性の多様性として認める必要がある」や「理解に努めようと思う」など、肯定的な意見を持っているという結果が出ており、県民の性の多様性に関する認知や理解が一定程度進んでいることが分かったところである。しかし一方では、自分の性や性的指向に悩んだことがあると回答した方のうち、75%が「差別、偏見がある」と回答しており、依然として性的マイノリティ当事者等が生きづらさを感じている現状がある。

これらを踏まえ、令和 3 年 3 月には、誰もが自分らしく幸せに生きることのできる沖縄を目指し、「沖縄県性の多様性尊重宣言（美ら島にじいろ宣言）」、令和 5 年 3 月には、「沖縄県差別のない社会づくり条例」の制定、セクシャリティに関する悩みや困りごとに対応する「LGBTQ にじいろ相談」を実施し、また、令和 7 年 3 月には、法律上の婚姻をしていない性的マイノリティや事実婚のカップルの関係を公的に証明する「沖縄県パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を展開しているところである。

（令和 7 年度調査で数値が取れたらその状況について追記）

このような状況を踏まえ、全ての県民がその個性や能力を十分に発揮し、個人の尊厳と多様性が尊重される社会の実現に向け、引き続き、取り組んでいく必要がある。

32 優先課題①-SDGs 推進目標 2  
 33 (障がいをはじめとした課題を持つ全ての人々にとって、協力的で包摂的なサービス・アク  
 34 セスを提供する社会を実現する。)

35

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	障がいをはじめとした課題を持つ全ての人々にとって、協力的で包摂的なサービス・アクセスを提供する社会を実現する。	障がい者雇用率	%	横軸	基準値 (R3)	1年目値(R4)	2年目値(R5)	目標値 (R13)		<p>経年変化グラフ: 障がい者雇用率</p> <p>目標値(R13) 3.3%</p> <p>基準値(R3) 2.9%</p> <p>1年目値(R4) 3.0%</p> <p>2年目値(R5) 3.2%</p>
				基準値・実績値	2.9%	3.0%	3.2%	3.3%	95.0%	
		公共施設等のバリアフリー化適合率	%	横軸	基準値 (R2)	1年目値 (R4)	2年目値(R5)	目標値 (R13)		<p>経年変化グラフ: 公共施設等のバリアフリー化適合率</p> <p>目標値(R13) 80.0%</p> <p>基準値(R2) 64.5%</p> <p>1年目値(R4) 67.1%</p> <p>2年目値(R5) 67.9%</p>
				基準値・実績値	64.5%	67.1%	67.9%	80.0%	21.9%	

36

37

38 【総評 (案)】

39 SDGs 推進目標 2 について、【障がい者雇用率】は全国 1 位と高い水準を維持しており、企  
 40 業や公共団体における理解の広がりがうかがえる。【公共施設等のバリアフリー化】も進展  
 41 しており、障がい者の社会参加を支える環境整備は一定の成果を上げている。

42 しかしながら、県民意識調査では「障がい者の社会参加が満たされていない」との回答が  
 43 一定数存在し、社会全体の満足度は必ずしも高いとは言えない。また、【障がい者雇用率】  
 44 についても、全国比較では評価できるものの、経年での大きな進展は見られず、目標達成に  
 45 向けてさらなる取組が求められる。

46 バリアフリー化に関しては、着実に前進している一方で、達成率は依然として低水準にと  
 47 どまっており、現場の当事者の声を丁寧に反映させることが、社会参加の実感を高めるうえ  
 48 で重要と考えられる。

49 優先課題①-SDGs 推進目標 3  
 50 (様々な国の生活・文化が理解され、誰もが住みやすい地域の形成を実現する。)

51

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
3	様々な国の生活・文化が理解され、誰もが住みやすい地域の形成を実現する。	在留外国人数	人	横軸	基準値 (R2)	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値 (R13)		<p>34.9%</p> <p>目標値(R13) 35,899人</p> <p>19,839 21,792 25,447</p> <p>基準値(R2) 1年目標(R4) 2年目標(R5)</p>
				基準値・実績値	19,839	21,792	25,447	35,899	34.9%	

52

53

54 【総評 (案)】

55 SDGs 推進目標 3について、【在留外国人数】の増加とともに、沖縄県における外国人労働者も 17,239 人 (厚生労働省による「『外国人雇用状況』の届出状況まとめ (令和 6 年 10 月)」) で、平成 25 年の 2,790 人と比較して約 6 倍に達しており、本県が外国人にとって住みやすい地域となっていると推察される。

59 一方で、外国人材の受入れについては、住居確保の際に入居を断られるなどの課題が指摘されている。(※具体的取組があれば入れる)

61 住居の確保は、生活の基本であるとともに、人権尊重の観点からも重要な課題である。

62 優先課題①-SDGs 推進目標 4

63 (家庭、職場、学校、地域といったあらゆる場面でジェンダー平等、男女の機会均等を実現  
64 する。)

65

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
4	家庭、職場、学校、地域と いったあらゆる場面でジェン ダー平等、男女の機会均 等を実現する。	社会全体における男 女の地位の平等感	%	横軸	基準値 (R2)	1年目標(R2)	2年目標(R2)	目標値(R7)		<p>目標値(R7) 21.2%</p>
				基準値・実績値	11.4%	11.4%	11.4%	21.2%	—	
		県（知事部局）の課 長相当職以上に占め る女性の割合	%	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R5)	2年目標(R6)	目標値 (R7)		<p>目標値(R7) 23.0%</p>
				基準値・実績値	16.4%	20.7%	21.4%	23.0%	75.8%	
		県の審議会等委員に 占める女性の割合	%	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R5)	2年目標(R6)	目標値 (R8)		<p>目標値(R8) 40.0%</p>
				基準値・実績値	30.7%	32.8%	34.8%	40.0%	44.1%	

66

67

68 【総評（案）】

69 SDGs 推進目標 4 について、男女が、互いにその人権を尊重し、喜びと責任を分かち合い、  
70 性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現は、大変  
71 重要な課題となっている。

72 沖縄県では、男女共同参画社会づくりの推進のため、より多くの女性に政策・方針決定の  
73 場へ参画してもらうことを目的として「人材情報提供事業」や女性活躍を推進する県内の  
74 様々な分野のリーダー等に、女性のチカラを応援する宣言” Woman ちゅ応援宣言” をしても  
75 らい、組織内の改革や社会の意識改革を促すようなメッセージの発信等の取組を行っている。

76 本県における【県（知事部局）の課長相当職以上に占める女性の割合】は着実に上昇して  
77 おり、女性の社会参加や能力発揮の面では一定の成果が見られ、主観的指標における女性の  
78 社会参加・能力への充足度の高さもこうした状況を裏付けるものである。それを男性の育児・  
79 介護休暇取得率、女性管理職の登用率などにつなげ、性にかかわらず誰もが活躍できる沖縄  
80 社会の実現につなげていくことを期待する。

81 一方で、地位やキャリア等における男女差の解消にはなお課題が残されている。また、県  
82 民全体や企業等に対する意識醸成の必要性も指摘されており、広報啓発や具体的施策の充実  
83 を図ることが重要である。

84 社会における女性活躍推進に関する取組を加速させるためには、女性、男性、組織等のリ  
85 ーダーそれぞれのチカラが必要となる。

86

87 優先課題①-SDGs 推進目標 5  
 88 (安全・安心で充実感を持って働くことができる労働環境を促進し、誰もが生き生きと活躍  
 89 できる社会を実現する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
5	安心・安全で充実感を持って働くことができる労働環境を促進し、誰もが生き生きと活躍できる社会を実現する。	ワークライフバランス認証企業数(累計)	団体	横軸	基準値(R4)	1年目値(R4)	2年目値(R5)	目標値(R13)		
				基準値・実績値	99	106	115	190	17.6%	
		沖縄県人材育成企業認証数	団体	横軸	基準値(R4)	1年目値(R5)	2年目値(R6)	目標値(R13)		
				基準値・実績値	43	39	54	95	21.2%	

91  
 92  
 93  
 94 【総評(案)】  
 95 SDGs 推進目標5について、【ワークライフバランス認証企業数】【人材育成企業認証数】と  
 96 もに毎年増加しているものの、目標値との乖離は大きく、両制度の更なる普及啓発や制度の  
 97 相談窓口の充実が求められている。  
 98 両認証制度の他、厚生労働省が設置する「沖縄働き方改革推進支援センター」の活用など、  
 99 行政が一体となって取り組むことにより、誰もが働きがいをもって仕事に取り組むことがで  
 100 きる環境づくりの実現に繋げていくことを期待する。

## 優先課題②

医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし

### 優先課題②-SDGs 推進目標 1

(平均寿命及び健康寿命が延び、健康・長寿おきなわの復活を実現する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	平均寿命及び健康寿命が延び、健康・長寿おきなわの復活を実現する。	健康寿命(男性)	歳	横軸	基準値(R1)	1年目標(R1)	2年目標(R4)	目標値(R9)		<p>目標値(R9) 前回調査より延伸</p>
				基準値・実績値	72.1	72.1	71.6	前回調査より延伸	—	
		健康寿命(女性)	歳	横軸	基準値(R1)	1年目標(R1)	2年目標(R4)	目標値(R9)		<p>目標値(R9) 前回調査より延伸</p>
				基準値・実績値	75.5	75.5	74.3	前回調査より延伸	—	

### 【総評(案)】

SDGs 推進目標 1 について、健康寿命(男性)と健康寿命(女性)がいずれも前回調査(令和元年)よりも短縮している。生活・食習慣、飲酒や喫煙、肥満率等の社会的要因が強く関係しているものと推察され、健康的な生活習慣(食事改善、運動、節酒など)と定期的な健康診断の受診を県民一人ひとりが心がける必要がある。

114 優先課題②-SDGs 推進目標 2

115 (全ての人々に対する普遍的な医療提供体制が充実し、安心して生活できる社会を実現す  
116 る。)

117

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	全ての人々に対する普遍的な医療提供体制が充実し、安心して生活できる社会を実現する。	人口10万人対医療施設従事医師数(県平均)	人	横軸	基準値(R2)	1年目値(R2)	2年目値(R4)	目標値(R6)		
				基準値・実績値	257.2	257.2	266.1	268.0	82.4%	

118

119

120 【総評(案)】

121 SDGs 推進目標 2について、【人口 10 万人対医療施設従事医師数(県平均)】は年々増加  
122 傾向にあるものの、県内における医師の地域偏在や診療科偏在が課題となっている。ま  
123 た、現場では、看護師や介護士の不足が深刻化し、休床等を余儀なくされる施設もみられ  
124 る。

125 沖縄県においては、今後高齢化が一層進むことが見込まれ、医療・介護需要の増大が予  
126 測されており、医療提供体制の維持・拡充が喫緊の課題となっている。そのため、県では  
127 これまで沖縄県医療計画の策定等を通じ、必要な医療提供体制の確保に取り組んでいる。

128 地域における医療提供体制の整備については、県、大学、医師会、病院等の連携が重要  
129 であり、従事者育成に向けた職業訓練の充実や小中学生からの職業体験を通じた人材確保  
130 等、長期的視点で協力して取り組む必要がある。



## 優先課題②-SDGs 推進目標 3

(ひとり親家庭など、支援が必要な方が安心して生活できる環境の形成を実現する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位	基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
3	ひとり親家庭など、支援が必要な方が安心して生活できる環境の形成を実現する。	就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数	件	横軸 基準値 (R2)	1年目標 (R4)	2年目標 (R5)	目標値 (R8)		<p>目標値(R8) 1,140件</p> <p>79.7%</p> <p>基準値(R2) 839 1年目標(R4) 999 2年目標(R5) 1,079</p>
				基準値・実績値	839	999	1,079	1,140	79.7%

### 【総評（案）】

SDGs 推進目標 3 について、【就職相談から就職に結びついたひとり親家庭の数】は増加しているものの、令和 5 年度に県が実施した「ひとり親家庭等実態調査」によれば、正規雇用であっても約 6 割が年間就労収入 300 万円未満にとどまり、生活費に対する不安が大きいことが浮き彫りとなった。さらに長引く物価高騰の影響も加わり、ひとり親世帯や生活困窮者への経済的打撃は深刻さを増している。

そのため、経済的支援や就労・就職支援施策の一層の強化が求められている。また、これらの情報を確実に届けるための広報活動の充実も不可欠であり、県民が利用しやすい環境を整えることが求められている。

また、リカレント教育の推進や職業訓練機会の拡充など、中長期的な視点に立った自立支援も重要である。

一方で、近年は相談から就職に結びつく事例や、ひとり親世帯の就労が改善傾向を示しており、子どもの未来県民会議を通じた企業・団体の参画は、官民連携の成功例として全国に発信できる強みであり、沖縄独自の取り組みとしてさらに発展させる意義がある。

今後は当事者の声を施策に反映させる仕組みを整え、地域社会全体でひとり親家庭を支える体制を確立することが、持続可能な社会づくりの鍵となる。



153 優先課題②-SDGs 推進目標 4

154 (高齢者が安心して元気に暮らせる社会を実現する。高齢者が安心して元気に暮らせる社  
155 会を実現する。)

156

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
4	高齢者が安心して元気に暮らせる社会を実現する。	人口10万人当たりの認知症サポーター数	人	横軸	基準値 (R3)	1年目値(R5)	2年目値(R6)	目標値 (R13)		
				基準値・実績値	7,438	7,823	8,438	14,200	14.8%	
		65歳以上就業率 (年平均値)	%	横軸	基準値 (R3)	1年目値 (R4)	2年目値(R5)	目標値(R13)		
				基準値・実績値	23.1%	24.1%	24.9%	25.1%	90.0%	

157  
158  
159

160 【総評 (案)】

161 SDGs 推進目標 4について、指標上では【人口 10 万人当たりの認知症サポーター数】や【65  
162 歳以上就業率 (年平均値)】の向上が見られ、医療・介護体制や社会参加が一定進展してい  
163 る。

164 本県は今後 10～20 年で全国一急速に高齢化が進むとされているが、県民全体に十分な認  
165 識や備えが浸透しているとは言い難い。特に人口 1 万人あたりの認知症サポーター講座開催  
166 回数は全国平均を下回っており、開催拡充と活動周知を図ることが必要である。

167 また、自治会や生活関連業者、近隣住民らによる見守り活動を推進し、当事者が声を上げ  
168 やすく住民が早期発見できる地域づくりを強化する必要がある。

169

170 優先課題②-SDGs 推進目標 5  
 171 (安心して子育てができる環境の形成を実現する。)

172

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
5	安心して子育てができる環境の形成を実現する。	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	横軸	基準値(R1)	1年目標(R3)	2年目標(R4)	目標値(R6)		<p>達成率 100%</p> <p>目標値(R6) 95.5%</p> <p>基準値(R1) 94.8%</p> <p>1年目標(R3) 95.6%</p> <p>2年目標(R4) 95.5%</p>
				基準値・実績値	94.8%	95.6%	95.5%	95.5%	100.0%	
		保育所等入所待機児童数(顕在・潜在)	人	横軸	基準値(R3)	1年目標(R5)	2年目標(R6)	目標値(R10)		<p>達成率 78.7%</p> <p>目標値(R10) 673人</p> <p>基準値(R3) 2,581</p> <p>1年目標(R5) 2,664</p> <p>2年目標(R6) 2,281</p>
				基準値・実績値	2,581	2,664	2,281	673	15.7%	

173  
 174  
 175  
 176 【総評(案)】

177 SDGs 推進目標 5について、本県の待機児童数は、平成 27 年(2015 年)のピーク時の 2,591  
 178 人から令和 6 年(2024 年)の 356 人と年々減少しているが、東京に次いで多く、保育サー  
 179 ビスのニーズは非常に高い状況にある。その背景には、保育士の確保が課題となっており、  
 180 さらに少子化傾向が進行する中で女性の社会進出による経済社会の活性化の観点から、仕事  
 181 と子育ての両立を支援する環境整備が求められている。

182 県では、保育士確保に向けた取組や地域別ミスマッチ解消に向けた保育所等の広域利用調  
 183 整、市町村の取組を支援するなどの施策を進めるとともに、社会全体で子育てを支え合う環  
 184 境を構築し、持続的な子育て環境の形成に繋げる必要がある。

185 優先課題②-SDGs 推進目標 6  
 186 (生活困窮世帯の子どもや世帯を支援する官民の枠組みが充実し、子ども達が生き生きと  
 187 活動できる環境の形成を実現する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
6	生活困窮世帯の子どもや世帯を支援する官民の枠組みが充実し、子ども達が生き生きと活動できる環境の形成を実現する。	沖縄子ども調査による困窮世帯の割合	%	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R3)	2年目標 (R5)	目標値 (R8)		<p>経年変化グラフ (R8)</p> <p>23.2% 23.2% 20.2% 19.8%</p> <p>基準値 (R3) 1年目標 (R3) 2年目標 (R5)</p>
					基準値・実績値	23.2%	23.2%	20.2%	19.8%	88.2%
		沖縄子どもの未来県民会議サポーター（個人）会員数	□	横軸	基準値(R2)	1年目標(R5)	2年目標 (R5)	目標値(R7)		<p>経年変化グラフ (R7)</p> <p>285 361 373 356</p> <p>基準値 (R2) 1年目標 (R5) 2年目標 (R5)</p>
					基準値・実績値	285	361	373	356	123.9%

188  
 189  
 190 【総評（案）】

191 SDGs 推進目標 6 について、【沖縄子ども調査による困窮世帯の割合】が減少しているほか、  
 192 【沖縄子どもの未来県民会議サポーター（個人）会員数】は令和 5 年時点で 373 人となっ  
 193 ており、目標値を超えている。

194 特に、こどもの居場所（こども食堂等）の県内設置数は令和 6 年 9 月時点で 361 カ所であ  
 195 り、全国調査の結果からも、こども食堂の 10 万人あたり充足率が全国一であるなど、社会  
 196 全体でこどもを見守る取組が進んでいる。

197 沖縄県は全国 1 位の出生率を誇る一方で、子どもの貧困率は高く、貧困率の解消と子育て  
 198 環境の整備の必要性を県民全体で具体的に理解し、自分の生活の中に位置づけて地域社会と  
 199 して取り組むことが期待される。ニーズの高い子どもの居場所づくりやひとり親への就労支  
 200 援等を引き続き進めるとともに、子どもの貧困対策等の取組について県民へ広く情報が行き  
 201 渡るよう、各施策の広報強化を図ることも重要である。また、ひとり親への労働環境の整備  
 202 を促すことも期待される。

203

## 優先課題③

地域への誇り（しまくとぅばの普及・推進等）と夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実

### 優先課題③-SDGs 推進目標 1

（生まれ育った地域の歴史や文化等を学び、地域への愛着と誇りを持った若者が活躍する社会を実現する。）

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	生まれ育った地域の歴史や文化等を学び、地域への愛着と誇りを持った若者が活躍する社会を実現する。	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合	%	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値 (R13)		<p>達成率 26.7%</p> <p>目標値(R13) 60.0%</p>
				基準値・実績値	28.6%	39.0%	36.8%	60.0%	26.1%	
		学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合	%	横軸	基準値 (R2)	1年目標 (R5)	2年目標(R6)	目標値 (R13)		<p>達成率 71.0%</p> <p>目標値(R13) 90.0%</p>
				基準値・実績値	84.0%	86.0%	90.6%	90.0%	110.0%	

#### 【総評（案）】

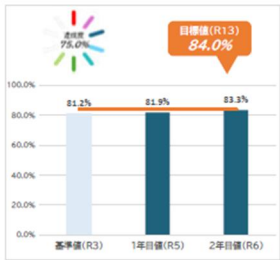
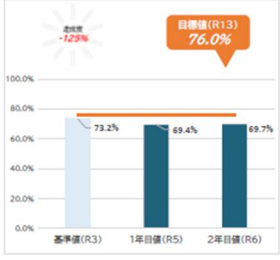
#### SDGs 推進目標 1について

沖縄の歴史や文化、そしてしまくとぅばに触れる機会の拡大は、県民の誇りやアイデンティティの形成に一定の成果を上げている。特に学校教育における伝統芸能の鑑賞や体験は児童生徒の理解を深め、「地域への誇り」と「生きる力」の向上に資するものとして評価できる。また県民意識調査の結果からは、若年層を中心に沖縄への誇りを強く感じる割合が高いことが示されており、さらに高校生による社会参画や地域活動の活発化も確認されている。これらは地域への愛着や誇りを一層強固にし、将来の人材育成にとって大きな強みとなっている。

一方で、しまくとぅばの実際の使用頻度は若者世代において低く、家庭や学校、地域において活用する機会が限られていることが課題である。

今後は、教育現場・家庭・地域社会・メディアやSNSを通じた文化と言語の継承機会をさらに充実させ、しまくとぅばの活用の場を広げるとともに、若者の地域活動や参画を積極的に後押しすることが重要である。さらに、格差に配慮した体験機会の保障を進めることで、地域の誇りと社会への満足度を結び付け、豊かな地域文化の持続的な発展につなげていくことが期待される。

231 優先課題③-SDGs 推進目標 2  
 232 (時代に対応し、生きる力を育む、多様な学びの環境の形成を実現する。)

2	時代に対応し、生きる力を育む、多様な学びの環境の形成を実現する。	将来の夢や目標を持ち、自らやると決めたことをやり遂げるようにしている児童生徒の割合（小学校）	%	横軸	基準値（R3）	1年目値（R5）	2年目値(R6)	目標値（R13）	
				基準値・実績値	81.2%	81.9%	83.3%	84.0%	
		将来の夢や目標を持ち、自らやると決めたことをやり遂げるようにしている児童生徒の割合（中学校）	%	横軸	基準値（R3）	1年目値（R5）	2年目値(R6)	目標値（R13）	
				基準値・実績値	73.2%	69.4%	69.7%	76.0%	

233  
 234  
 235

236 【総評（案）】  
 237 SDGs 推進目標 2について  
 238 教育の公平性については、家庭環境に左右されずに学習機会を保障する取り組みが課題で  
 239 あり、給付型奨学金や無料塾など就学援助制度の充実と、その情報を確実に子育て世帯へ届  
 240 ける仕組みづくりが重要である。また、企業との連携による職場体験や SNS を活用した多様  
 241 な職業情報の発信は、子どもたちに将来を考えるきっかけを与える有効な手段として期待さ  
 242 れる。  
 243 今後は、経済格差に左右されない学習環境の保障と、世代を超えた学びの機会づくりを一  
 244 層推進する必要がある。

245

246 優先課題③-SDGs 推進目標 3  
 247 (充実した人生 100 年時代、再チャレンジを支える学びの環境を実現する。)

248

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
3	充実した人生100年時代、再チャレンジを支える学びの環境を実現する。	教育訓練給付金の受給者数（10万人あたり）	人	横軸	基準値(R1)	1年目標(R3)	2年目標(R4)	目標値(R13)		
				基準値・実績値	40.6	42.5	38.3	44.9	-53.5%	
		県・市町村における生涯学習講座の受講者数	人	横軸	基準値(R2)	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値(R13)		
				基準値・実績値	47,129	96,446	92,017	182,000	33.3%	

249  
250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

【総評（案）】

SDGs 推進目標 3 について、【県・市町村における生涯学習講座の受講者数】は基準値の約 2 倍に達し、県民の学習意欲の高まりが見られる。

【教育訓練給付金の受給者数（10 万人あたり）】は後退しており、第 12 回県民意識調査 (R6) から、公平な教育機会の確保と社会に出る上で必要な資質を身につけられる教育環境に対する充足度がやや低いという結果となっている。背景には、大人の学習意欲や、学びたいことと講座の内容のマッチング、時間と学習資金の問題等があることが推察されるが、人生 100 年時代、再チャレンジを支える学びの環境づくりに向けて、労働者が自らの意思で学ぶ機会が得られるよう取り組むことが必要である。

今後は、生涯学習講座に地域活動や行事を取り入れ、大人の地域への誇りと学習意欲を同時に高める工夫が求められる。また、ひとり親家庭への生活・就労支援やリカレント教育の推進を含め、世代を超えた学びの環境と生活の安定を実現することが重要である。



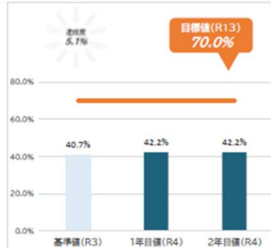
263  
264  
265  
266  
267  
268  
269  
270  
271  
  
272  
273  
  
274  
275  
276  
277

優先課題④

基幹産業として持続可能で責任ある観光（サステナブル／レスポンシブルツーリズム）の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興（農林水産業におけるブランド化等）、県経済の基盤となる安定的な雇用

優先課題④-SDGs 推進目標 1

（魅力的な観光産業の展開と生物多様性の両立により、世界に誇る持続可能な観光地（サステナブル・ツーリズム等）の形成を実現する）

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	魅力的な観光産業の展開と生物多様性の両立により、世界に誇る持続可能な観光地（サステナブル・ツーリズム等）の形成を実現する。	持続可能な観光を推進するための取組が行われていると感じた観光客の割合	%	横軸	基準値 (R3)	1年目値 (R4)	2年目値 (R4)	目標値(R13)		
				基準値・実績値	40.7%	42.2%	42.2%	70.0%	5.1%	

【総評（案）】

SDGs 推進目標 1 について、魅力的な観光産業の展開と生物多様性の両立やサステナブル・ツーリズムの形成の実現に向けては、旅行者と地域住民が、沖縄の観光資源の価値を共有する取組を、関係機関等と連携を図りながら推進していくことが期待される。

278 優先課題④-SDGs 推進目標 2  
 279 （観光との連携・相乗効果なども活用し、県内企業の稼ぐ力を強化することで、域内経済循  
 280 環の拡大や県民所得の向上を実現する。）

281

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	観光との連携・相乗効果なども活用し、県内企業の稼ぐ力を強化することで、域内経済循環の拡大や県民所得の向上を実現する。	月間現金給与額 （「きまって支給する給与」の全産業平均値）	万円	横軸	基準値(R2)	1年目値 (R4)	2年目値 (R5)	目標値(R6)		<p>達成度 0%</p> <p>目標値(R6) 23万円</p> <p>25万円 20万円 15万円 10万円 5万円 0万円</p> <p>基準値(R2) 1年目値(R4) 2年目値(R5)</p>
				基準値・実績値	22	22	22	23	0.0%	

282

283

284 【総評（案）】  
 285 SDGs 推進目標 2 について、【月間現金給与額】の指標による評価は横ばいとなっているもの  
 286 の、第 12 回県民意識調査 (R6)において、収入が着実に増えるの項目で「満たされていない」  
 287 と回答した割合が 46.4%となっている。  
 288 引き続き域内経済循環や収益力向上に資する取組を促進し、県内企業の稼ぐ力の強化を進  
 289 めていく必要がある。

290 優先課題④-SDGs 推進目標 3  
 291 (沖縄県産農林水産物のブランド化による県外消費と地産地消の促進により農業・林業・水  
 292 産業の産出額等の拡大を実現する。)

293

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
3	沖縄県産農林水産物のブランド化による県外消費と地産地消の促進により農業・林業・水産業の産出額等の拡大を実現する。	農林漁業産出額 (内訳：農業産出額、林業産出額、漁業産出額)	億円	横軸	基準値 (R2)	1年目値 (R3)	2年目値 (R4)	目標値		<p>目標値(R13) 計 1,500億円 農業1,205億円 / 林業16億円 / 漁業279億円</p> <p>達成度 -8.4%</p>
				農業	910	922	890	1,200		
				林業	15	16	14	16		
				漁業	184	179	172	279		
				合計	1,109	1,117	1,076	1,500	-8.4%	

294

295

296 【総評（案）】

297 SDGs 推進目標 3 について、【農林漁業産出額】の指標による評価は横ばいとなっており、

298 農業・林業・漁業ともに当初値より減少している。生産者の高齢化、若い担い手不足や農家

299 戸数の減少、資料高騰に起因する平均子牛取引価格の低迷等が減少の要因と考えられる。

300 一方で、一次産業分野では新たにスタートアップの動きも生まれており、これを積極的に

301 発信し、若者が魅力を感じ参入できる環境を整えることが今後のブランド力向上と持続可能

302 な発展に向けて重要である。

303 引き続き、農林漁業産出額等の拡大に向けてサプライチェーン全体での県民一丸となった

304 取組が必要である。

305 優先課題④-SDGs 推進目標 4  
 306 (科学技術・イノベーションにより、健康・バイオ・医療関連分野において、新たな産  
 307 業等が創出され、持続可能な産業振興を実現する。)

308

309

310 【総評（案）】

311 SDGs 推進目標 4 について、【スタートアップ企業創出数（累計）】は前進している。引き続  
 312 き、おきなわスタートアップエコシステムコンソーシアムを核としながら、OIST の新しい  
 313 インキュベーションセンター、琉球大学の琉ラボや西普天間キャンパスの先端医学研究セン  
 314 ターなどを HUB としたディープテック系スタートアップ創出強化を図ることで県内外から  
 315 投資を呼び込み、若者にとって魅力のある新たな産業創出を図ることが期待される。

316

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
4	科学技術・イノベーションにより、健康・バイオ・医療関連分野において、新たな産業等が創出され、持続可能な産業振興を実現する。	スタートアップ企業創出数（累計）	社	横軸	基準値	1年目標（R5）	2年目標（R6）	目標値（R13）		<p>経年変化グラフ</p> <p>目標値 (R13) 100社</p> <p>13 25</p> <p>0 13 25</p> <p>基準値 1年目標(R5) 2年目標(R6)</p>
				基準値・実績値	—	13	25	100	—	

317 優先課題④-SDGs 推進目標 5  
 318 (働く意欲のある人に雇用の機会が確保され、沖縄社会全体で、完全かつ生産的な雇用を実現する。)

320

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
5	働く意欲のある人に雇用の機会が確保され、沖縄社会全体で、完全かつ生産的な雇用を実現する。	就業率（年平均値）	%	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値(R13)		<p>目標値(R13) 60.2%</p>
				基準値・実績値	60.0%	60.7%	62.0%	60.2%	1000.0%	

321

322

323 【総評（案）】

324 SDGs 推進目標 5 について、【就業率（年平均値）】は横ばいとなっているが、沖縄労働局の

325 調査結果によると、県内高卒者の内定率が過去最高の 99.4%に達し、21 年連続で全国最下

326 位であった状況から初めて全国平均を上回った。これは県内企業の魅力化や産業振興の成果

327 と捉えることができ、今後の雇用環境改善に向けた大きな進展といえる。

328 各業界で人手不足が深刻化しており、沖縄県内で優秀な人材を育成し、確保・定着させる

329 ためには教育機関の充実と国際的なニーズに対応できる産業人材を育む新たな教育機関の

330 創出が期待される。

331

## 優先課題⑤

日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報・金融の拠点

### 優先課題⑤-SDGs 推進目標 1

(アジア・太平洋の国際物流拠点として確立され、公平で開かれた貿易環境を実現する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位	基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	アジア・太平洋の国際物流拠点として確率され、公平で開かれた貿易環境を実現する。	那覇空港の貨物取扱量	万トン	横軸	基準値 (R2)	1年目標 (R4)	2年目標 (R5)	目標値 (R13)	<p>達成率 0%</p> <p>目標値 (R13) 33.0万トン</p>
				基準値・実績値	18.0	18.0	18.0	33.0	0.0%
		那覇港の外貿取扱貨物量	万トン	横軸	基準値 (R1)	1年目標 (R4)	2年目標 (R5)	目標値 (R13)	<p>達成率 -22.3%</p> <p>目標値 (R13) 238.0万トン</p>
				基準値・実績値	137.4	124.0	115.0	238.0	-22.3%

### 【総評（案）】

SDGs 推進目標 1 について

SDGs 推進目標 1 について、【国際貨物取扱量】はコロナ禍前の水準に回復していないこと等により、指標の評価は後退している。

県内では国内外からの企業進出が進み、県や市町村による多様な企業支援策が展開されている。一方で、小規模企業にとっては制度内容や手続きが煩雑等で支援が十分に活用できていない実態がある。アジア・太平洋の物流拠点としての地位確立に向け、さらなる輸送網の強化や企業ニーズに即した制度設計が必要である。

総じて、企業規模を問わず支援が行き届く仕組みづくりと国際物流拠点化の推進が、今後の経済基盤強化に不可欠である。



350 優先課題⑤-SDGs 推進目標 2

351 (情報通信産業が稼げる産業へと変革し、産業 DX を支えるパートナーとして、沖縄の産業  
352 の持続的発展に寄与することを実現する。)

353

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	情報通信産業が稼げる産業へと変革し、産業DXを支えるパートナーとして、沖縄の産業の持続的発展に寄与することを実現する。	情報通信産業における従業者1人当たりの売上額	万円	横軸	基準値 (R3)	1年目値 (R4)	2年目値 (R5)	目標値 (R13)		<p>達成率 10.8%</p> <p>目標値(R13) 1,250万円</p> <p>基準値(R3) 1,093 1年目値(R4) 1,093 2年目値(R5) 1,110</p>
				基準値・実績値	1,093	1,093	1,110	1,250	10.8%	

354

355

356 【総評（案）】

357 SDGs 推進目標 2 について、【情報通信産業における従業者 1 人当たりの売上額】において  
358 は、ほぼ横ばいである。

359 県や市町村によるベンチャー・スタートアップ支援は充実しており、情報通信産業の規模  
360 も当初値から増加している。しかし、支援終了後には事業継続率が大きく低下する調査結果  
361 もあり事業承継課題を抱える企業も含め、DX 推進や業態転換を後押しする「リベンジ支援  
362 策」の拡充が必要である。

363 また、DX を担う人材不足は喫緊の課題であり、社会人を対象としたリカレント教育や企  
364 業研修を通じ、幅広い層に実践的スキルを習得させる仕組みづくりが求められる。加えて、  
365 情報通信や国際トレーディングの高度人材を育成する教育機関の創出により、沖縄の産業基  
366 盤を「稼げる産業」へ進化させることが期待される。

367 **優先課題⑥**  
 368 気候変動に適応する強靱なインフラと交通網の整備

369  
 370 **優先課題⑥-SDGs 推進目標 1**  
 371 （気候関連災害・自然災害に対する強靱さ（レジリエンス）を備えた地域づくり・まちづ  
 372 くりを実現する。）

373

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ										
1	気候関連災害・自然災害に対する強靱さ（レジリエンス）を備えた地域づくり・まちづくりを実現する。	防災拠点となる公共施設等の耐震化率	%	横軸	基準値（R2）	1年目標(R3)	2年目標(R4)	目標値（R12）		<p>経年変化グラフのデータ:</p> <table><thead><tr><th>項目</th><th>達成度 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値 (R2)</td><td>40.9%</td></tr><tr><td>1年目標 (R3)</td><td>92.4%</td></tr><tr><td>2年目標 (R4)</td><td>94.3%</td></tr><tr><td>目標値 (R12)</td><td>99.0%</td></tr></tbody></table>	項目	達成度 (%)	基準値 (R2)	40.9%	1年目標 (R3)	92.4%	2年目標 (R4)	94.3%	目標値 (R12)	99.0%
				項目	達成度 (%)															
基準値 (R2)	40.9%																			
1年目標 (R3)	92.4%																			
2年目標 (R4)	94.3%																			
目標値 (R12)	99.0%																			
基準値・実績値	92.4%	94.3%	95.1%	99.0%	40.9%															

374

375

376 **【総評（案）】**

377 SDGs 推進目標 1について、【防災拠点となる公共施設等の耐震化率】は着実に上昇してい

378 る。また、第 12 回県民意識調査では、約 4 割が「防災対策が充実している」と回答してお

379 り、防災施策が県民生活に安心感を与えているといえる。

380 県では、県民や建築物の所有者に対し耐震化の必要性、重要性について、普及啓発に積極

381 的に取り組むとともに、取り組みへの支援をできる限り行う観点から、耐震化に関する各種

382 補助制度の運用や国の支援制度等の周知を図ることで建築物の耐震化を促進している。

383 今後は耐震化率のさらなる向上に加え、災害時の業務継続性を確保する観点から、引き続

384 き関係機関と連携し、防災力向上に取り組むことが重要である。

385 優先課題⑥-SDGs 推進目標 2

386 (2050 年度カーボンニュートラルの実現に向け、本県の地域特性に合ったクリーンエネル  
387 ギーの導入拡大や省エネルギー対策の推進、二酸化炭素吸収源対策等が進み、低炭素で災害  
388 に強い、沖縄らしい島しょ型エネルギー社会に向けた基盤形成を実現する。)

389

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	2050年度カーボンニュートラルの実現に向け、本県の地域特性に合ったグリーンエネルギーの導入拡大や省エネルギー対策の推進、二酸化炭素吸収源対策等が進み、低炭素で災害に強い、沖縄らしい島しょ型エネルギー社会に向けた基盤形成を実現する。	1人当たりの二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub> /人	横軸	基準値 (H30)	1年目値 (R2)	2年目値(R3)	目標値(R13)		
				基準値・実績値	7.9	7.1	7.0	4.8	29.0%	
		再生可能エネルギー電源比率	%	横軸	基準値 (R3)	1年目値 (R3)	2年目値 (R4)	目標値 (R12)		
				基準値・実績値	11.1%	11.1%	12.0%	18.0%	13.0%	

390

391

392 【総評（案）】

393 SDGs 推進目標 2 について、【1人当たりの二酸化炭素排出量】、【再生可能エネルギー電源  
394 比率】は前進してはいるものの、目標値との乖離は大きく、再生可能エネルギーの更なる導  
395 入促進が求められている。

396 沖縄県では、クリーンエネルギー導入拡大に向けた取組としてワンストップ相談窓口を設  
397 置し、補助金案内、税制等の各種支援制度に対する情報提供などにより、県民や企業が取り  
398 組みやすい環境整備に努めており、県民の理解と参加を広げつつ、引き続きカーボンニュ  
399 ートラルに向けて産学官連携し、取り組んでいく必要がある。

400 優先課題⑥-SDGs 推進目標 3  
 401 (環境と人に優しい地域づくり、交通網・まちづくりを実現する。)

402

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
3	環境と人に優しい地域づくり、交通網・まちづくりを実現する。	公共交通利用者数	万人	横軸	基準値 (R2)	1年目値 (R3)	2年目値(R4)	目標値 (R13)		
				基準値・実績値	2,872	2,996	3,825	6,900	23.7%	
		県公用車のEV・PHV導入台数	台	横軸	基準値 (R2)	1年目値 (R5)	2年目値(R5)	目標値 (R12)		
				基準値・実績値	1	132	131	600	21.7%	

403

404

405

406 【総評（案）】

407 SDGs 推進目標 3 については、【公共交通利用者数】は前進しているものの目標値とのギャップが大きく、第 12 回県民意識調査 (R6) の結果からも、公共交通機関が利用しやすい、目的地まで円滑に移動できるの両項目について、「満たされない」という回答が「満たされる」を上回っている。入域観光客数が増加する中で、県民と観光客双方がストレスなく利用できる交通環境の整備は不可欠である。県内では、路線バス無料実証実験や自治体によるコミュニティバス運行拡充などの取組みが進み、高齢者や児童生徒の移動利便性向上に一定の効果を挙げている。

414 沖縄県では、通勤だけでなく、通学や部活動等の教育活動に関する移動目的の自家用車利用による交通渋滞等も課題となっている。マイカー利用から公共交通利用を促すための強力な施策が必要であり、琉球大学が産学連携で取り組んでいる公共交通利用に対しインセンティブを付与するエコノミーモデル「キャンパス MaaS」等も参考に、産学官プロジェクトによる取組を促進するなど、マイカーに依存しなくても、安心・快適で活力ある沖縄を築く交通社会の実現（クルマから人中心の社会へ）を目指す。

## 優先課題⑦

多様な生物・生態系や世界自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコ  
アイランドの実現、自然と調和したライフスタイル

### 優先課題⑦-SDGs 推進目標 1

(美しく豊かな自然が保全され、生物多様性の維持を実現する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	美しく豊かな自然が保全され、生物多様性の維持を実現する。	重点対策種等の排除・根絶地域数	地域	横軸	基準値 (R2)	1年目標(R5)	2年目標(R6)	目標値 (R13)		
				基準値・実績値	0	0	0	4	0.0%	
		監視海域における赤土等年間流出量	万トン	横軸	基準値 (R3)	1年目標 (R3)	2年目標(R3)	目標値 (R13)		
				基準値・実績値	14.1	14.1	14.1	8.0	0.0%	

### 【総評 (案)】

SDGs 推進目標 1について、【重点対策種等の排除・根絶地域数】は横ばいとなっており、達成度が0となっている。

沖縄県は、島ごとに数多くの固有種が生息しており、日本本土と比べ生物多様性の高い地域である。しかし、近年、多くの外来種が侵入・定着し、一部の外来種は生物多様性に大きな影響を与えており、人の生命・身体、農林水産業への影響もみられることから、本県では、平成 27 年度「沖縄県外来種対策指針」等を策定し、外来種問題の正しい知識を認識するための県民への普及啓発や情報収集等の取り組みを実施している。

今後、更なるグローバル化が進み、新たな外来種の侵入リスクが高まることが想定されるため、国、県、市町村、関係団体、県民など各主体との連携・協力体制を構築していくことが求められる。

441 優先課題⑦-SDGs 推進目標 2  
 442 (持続可能な消費・開発、自然と調和したライフスタイルの形成、廃棄物削減などによっ  
 443 て資源循環型の社会を実現する。)

444

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	持続可能な消費・開発、 自然と調和したライフスタイルの形成、廃棄物削減など によって資源循環型の社会を実現する。	一般廃棄物のリサイクル率	%	横軸	基準値 (R2)	1年目標 (R3)	2年目標(R4)	目標値 (R6)		
					基準値・実績値	16.6%	15.8%	15.9%	20.8%	-16.7%
		産業廃棄物のリサイクル率	%	横軸	基準値 (R2)	1年目標 (R3)	2年目標(R4)	目標値 (R6)		
					基準値・実績値	51.1%	45.2%	48.2%	50.6%	-580.0%
		食品ロス量	t	横軸	基準値 (R3)	1年目標 (R4)	2年目標 (R4)	目標値 (R13)		
					基準値・実績値	61,450	53,966	53,966	51,004	71.6%

445  
446  
447 【総評（案）】

448 SDGs 推進目標 2について、【廃棄物のリサイクル率（一般、産業）】が後退している。  
 449 プラスチックは軽量で耐久性があり、日常生活で広く利用されているが、その生産増加に  
 450 伴い海洋プラスチックごみ問題が深刻化している。これにより海洋生態系や観光に影響が出  
 451 ており、マイクロプラスチックの問題も注目されている。

452 沖縄県においても毎年絶え間なく海岸に漂着するプラスチックごみ問題は深刻であり、継  
 453 続した対策が行われている。一方、プラスチック資源循環に関しては、輸送コストがかかる  
 454 ことやスケールメリットが得られにくいなど、島しょ性に起因する課題を抱えている。

455 本県の課題解決に向けて、プラスチックの適正処理及び資源循環に向けた体制作りを進め  
 456 るとともに、県民一人ひとりが「プラスチック問題」を自分事として捉え、ライフスタイル  
 457 の見直しを通してプラスチックの使用削減に向けて取り組んで行くことが重要である。

458 また、【食品ロス量】は目標に向けて順調に削減が進んでおり、引き続き、食品ロスを削  
 459 減していくため、県民各層がそれぞれの立場において主体的にこの問題に取り組み、食べ物  
 460 を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくことが重要である。

461



## 優先課題⑧

基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信

### 優先課題⑧-SDGs 推進目標 1

(基地から派生する諸問題の解決が進んでいる。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	基地から派生する諸問題の解決が進んでいる。	米軍基地関係事件・事故数（刑法犯含む）	件	横軸	基準値（R2年）	1年目標（R4）	2年目標（R5）	目標値(R13)		<p>目標値(R13) 可能な限り減少させる</p>
				基準値・実績値	109	142	160	可能な限り減少させる	—	
		航空機騒音環境基準達成率	%	横軸	基準値（R2）	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値(R13)		<p>目標値(R13) 82.0%</p>
				基準値・実績値	73.0%	72.0%	63.0%	82.0%	-111.1%	

### 【総評（案）】

SDGs 推進目標 1 について、【米軍基地関係事件・事故数（刑法犯含む）】および【航空機騒音環境基準達成率】について、進捗が後退している。【米軍基地関係事件・事故数（刑法犯含む）】の件数自体は増えているが、日米合同でパトロールを行うなどの取組が行われている。

また、第 12 回県民意識調査(R6)の結果では、【米軍基地から派生する諸問題への対策が講じられている】という調査項目において、満たされていると回答した割合が 14.5%に留まっており、県民の実感としても充足度が低く、事件・事故の防止に向けた更なる取組が必要である。

482 優先課題⑧-SDGs 推進目標 2  
 483 （平和を希求する「沖縄のこころ」が継承され、国内外に広く発信 され、世界平和への貢  
 484 献を実現する。）

485

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ								
2	平和を希求する「沖縄のこころ」が継承され、国内外に広く発信され、世界平和への貢献を実現する。	平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数	校	横軸	基準値 (R2)	1年目値(R5)	2年目値(R6)	目標値(R4)		<p>目標値(R4) 84校</p> <table><tr><th>項目</th><th>値</th></tr><tr><td>基準値(R2)</td><td>52</td></tr><tr><td>1年目値(R5)</td><td>109</td></tr><tr><td>2年目値(R6)</td><td>111</td></tr></table>	項目	値	基準値(R2)	52	1年目値(R5)	109	2年目値(R6)	111
				項目	値													
		基準値(R2)	52															
		1年目値(R5)	109															
2年目値(R6)	111																	
基準値・実績値	52	109	111	84	184.4%													
団体	横軸	基準値 (R2)	1年目値(R5)	2年目値(R6)	目標値 (R12)		<p>目標値(R12) 36団体</p> <table><tr><th>項目</th><th>値</th></tr><tr><td>基準値(R2)</td><td>6</td></tr><tr><td>1年目値(R5)</td><td>12</td></tr><tr><td>2年目値(R6)</td><td>18</td></tr></table>	項目	値	基準値(R2)	6	1年目値(R5)	12	2年目値(R6)	18			
	項目	値																
基準値(R2)	6																	
1年目値(R5)	12																	
2年目値(R6)	18																	
基準値・実績値	6	12	18	36	40.0%													

486

487

488

489

490 【総評（案）】

491 SDGs 推進目標 2について、【平和祈念資料館による平和講話等の実施学校数】は前進して  
 492 おり、目標は達成できているものの、今後も平和に関する教育を継続して推進することが期  
 493 待される。

494 **優先課題⑨**  
 495 **共助・共創型の安全・安心な社会の実現**

496  
 497 **優先課題⑨-SDGs 推進目標 1**  
 498 **（行政、家庭、企業、ボランティア等の地域社会を構成する各主体が一体となって防災・**  
 499 **防犯に取り組み、安全・安心に暮らせる地域を実現する。）**

500

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	行政、家庭、企業、ボランティア等の地域社会を構成する各主体が一体となって防災・防犯に取り組み、安全・安心に暮らせる地域を実現する。	飲酒絡み交通人身事故の構成率	%	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R5)	2年目標(R6)	目標値 (R12)		<p>達成度 -107.8%</p> <p>目標値(R12) 0.9%</p> <p>基準値(R3) 1.8%    1年目標(R5) 3.1%    2年目標(R6) 2.8%</p>
				基準値・実績値	1.8%	3.1%	2.8%	0.9%	-107.8%	

501

502

503

504 **【総評（案）】**

505 SDGs 推進目標 1 について、【飲酒絡み交通人身事故の構成率】については後退してい

506 る。

507 引き続き、飲酒運転防止を含め、行政、家庭、企業、ボランティア等の地域社会を構成

508 する各主体が一体となって安全・安心に暮らせる地域づくりに向けて、各種取組の周知、

509 啓発活動等に取り組む必要がある。

510

511 優先課題⑨-SDGs 推進目標 2  
 512 (社会的弱者に対する犯罪等の防止や被害者等への支援のための体制や環境の構築を実現  
 513 する。)

514

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	社会的弱者に対する犯罪等の防止や被害者等への支援のための体制や環境の構築を実現する。	配偶者暴力相談件数	件	横軸	基準値 (R3)	1年目標 (R3)	2年目標(R4)	目標値 (R13)		
				基準値・実績値	2,092	2,563	1,835	2,550	-56.1%	
		過去1年間の児童相談所における児童虐待相談の対応件数	件	横軸	基準値(R2)	1年目標 (R4)	2年目標(R4)	目標値(R12)		
				基準値・実績値	1,835	2,585	2,585	減少へ	—	

515  
 516

517 【総評（案）】  
 518 SDGs 推進目標 2 の【配偶者暴力相談件数】については、相談しやすい環境づくりを目的に  
 519 しており、増加することを前進と設定しているが、指標による評価は後退している。令和 3  
 520 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出制限により相談件数が増加していたの  
 521 に対し、外出制限が緩和された令和 4 年度は件数が減少したと推察される。引き続き、相談  
 522 しやすい環境づくりに取り組むとともに、配偶者等暴力の防止に向けた取組を推進すること  
 523 が必要である。  
 524 【児童相談所における児童虐待相談の対応件数】は、減少を目指した指標として設定して  
 525 おり、指標による評価は後退している。引き続き、虐待の未然防止に向けて取り組む必要が  
 526 ある。

527 優先課題⑨-SDGs 推進目標 3  
 528 (地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者が持ち味をいかしつつ連携して推進する  
 529 パートナーシップを通じて、共助・共創型の社会を実現する。)

530

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ										
3	地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者が持ち味をいかしつつ連携して推進するパートナーシップを通じて、共助・共創型の社会を実現する。	NPOと県との協働事業数	事業	横軸	基準値 (R2)	1年目値(R5)	2年目値 (R6)	目標値 (R12)		<p>達成率 44.0%</p> <p>目標値(R12) 782事業</p> <table><thead><tr><th>指標</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値(R2)</td><td>398</td></tr><tr><td>1年目値(R5)</td><td>526</td></tr><tr><td>2年目値(R6)</td><td>567</td></tr><tr><td>目標値(R12)</td><td>782</td></tr></tbody></table>	指標	値	基準値(R2)	398	1年目値(R5)	526	2年目値(R6)	567	目標値(R12)	782
				指標	値															
		基準値(R2)	398																	
		1年目値(R5)	526																	
2年目値(R6)	567																			
目標値(R12)	782																			
基準値・実績値	398	526	567	782	44.0%															
おきなわSDGsプラットフォームの登録団体数	団体	横軸	基準値 (R3)	1年目値 (R5)	2年目値R6	目標値 (R12)		<p>達成率 71.4%</p> <p>目標値(R12) 2,000団体</p> <table><thead><tr><th>指標</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値(R3)</td><td>407</td></tr><tr><td>1年目値(R5)</td><td>1,204</td></tr><tr><td>2年目値R6</td><td>1,545</td></tr><tr><td>目標値(R12)</td><td>2,000</td></tr></tbody></table>	指標	値	基準値(R3)	407	1年目値(R5)	1,204	2年目値R6	1,545	目標値(R12)	2,000		
		指標	値																	
基準値(R3)	407																			
1年目値(R5)	1,204																			
2年目値R6	1,545																			
目標値(R12)	2,000																			
基準値・実績値	407	1,204	1,545	2,000	71.4%															

531  
532

533 【総評（案）】

534 SDGs 推進目標 3 について、【NPO と県との協議事業数】【おきなわ SDGs プラットフォーム  
 535 の登録団体数】がいずれも増加しており、パートナーシップを通じた、共助・共創型の社会  
 536 の実現に向けて前進している。

537 優先課題⑩  
 538 ユイマール（相互扶助）の継承、人の和・地域の和

539  
 540 優先課題⑩-SDGs 推進目標 1

541 （県民一人ひとりが地域活動に積極的に参画するローカルパートナーシップが充実した社  
 542 会を実現する。）

543

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	県民一人ひとりが地域活動に積極的に参画するローカルパートナーシップが充実した社会を実現する。	県内市町村社協へ登録しているボランティア団体総数	団体	横軸	基準値(R3)	1年目標(R5)	2年目標(R6)	目標値(R8)		
				基準値・実績値	709	712	771	800	68.1%	
		自主防災組織率	%	横軸	基準値(R2)	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値(R12)		
				基準値・実績値	33.0%	40.6%	41.4%	80.0%	17.9%	

544

545  
 546 【総評（案）】

547 SDGs 推進目標 1 について、【県内市町村社協へ登録しているボランティア団体総数】や【自  
 548 主防災組織率】は前進している。沖縄にはユイマール精神が根付いており、地域自治会や青  
 549 年会、エイサー・旗頭などの伝統文化を通じ、世代を超えた交流や相互扶助が今も息づいて  
 550 いる。また、「模合」など生活に密着した互助の仕組みも発信可能な地域資源である。

551 中高生世代に広がる SDGs パスポートやボランティア活動の浸透は好事例であり、これを  
 552 発信することで主体的な社会参画をさらに促進できる。今後も地域の絆と相互扶助の精神を  
 553 次世代へ継承する取り組みが期待される。

554



555 優先課題⑩-SDGs 推進目標 2  
 556 (地域の伝統行事や文化に若い世代が参加する機会が増え、次世代への継承を実現する。)

557

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位	基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	地域の伝統行事や文化に若い世代が参加する機会が増え、次世代への継承を実現する。	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数	人	横軸 基準値 (R1)	1年目標 (R4)	2年目標(R5)	目標値 (R13)		<p>目標値(R13) 20,000人</p> <p>達成度 4358.7%</p>
				基準値・実績値	11,821	35,783	368,318	20,000	4358.7%

558  
559

560 【総評（案）】  
 561 SDGs 推進目標 2に関連し、伝統文化が地域のまつり等で地域の人々を通じて継承されて  
 562 いることがうかがえる。グローバル化の進展に伴い、多くの人々が国境を越えて行き交い、  
 563 国内外の文化人・芸術家等の相互交流が進む中で、文化芸術による対話や交流を通じて新た  
 564 な価値を創出し、それを世界へ発信するとともに、国内外の文化的多様性や相互理解を促進  
 565 していくことの重要性も一層高まっている。  
 566 文化芸術施策の推進に当たっては、観光、まちづくり、産業、国際交流、福祉、教育その  
 567 他の関連分野の施策と連携が必要である。また、安定的な財源の確保のため、クラウドファ  
 568 ンディングやふるさと寄附金等の多様な資金調達・財源確保の検討を行っていくことが求め  
 569 られる。

570

571 優先課題⑪  
 572 地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携の創出

573  
 574 優先課題⑪-SDGs 推進目標 1  
 575 （離島等の魅力を活かした地域間の交流が活発に行われるとともに、住民が安心して生活  
 576 できる社会を実現する。）

577

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ								
1	離島等の魅力を活かした地域間の交流が活発に行われるとともに、住民が安心して生活できる社会を実現する。	離島人口社会増数	人	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値 (R13)		<p>目標値 (R13) 増加(令和3年10月～令和13年9月の累計)</p> <table> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> <tr> <td>基準値 (R3)</td> <td>-70</td> </tr> <tr> <td>1年目標 (R4)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2年目標 (R5)</td> <td>786</td> </tr> </table>	項目	値	基準値 (R3)	-70	1年目標 (R4)	11	2年目標 (R5)	786
				項目	値													
		基準値 (R3)	-70															
		1年目標 (R4)	11															
2年目標 (R5)	786																	
基準値・実績値	-70	11	786	増加 (令和3年10月～令和13年9月の累計)	—													
過疎地域人口社会増数	人	横軸	基準値 (R3)	1年目標(R4)	2年目標(R5)	目標値 (R13)		<p>目標値 (R13) 増加(令和3年10月～令和13年9月の累計)</p> <table> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> <tr> <td>基準値 (R3)</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>1年目標 (R4)</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>2年目標 (R5)</td> <td>342</td> </tr> </table>	項目	値	基準値 (R3)	7	1年目標 (R4)	132	2年目標 (R5)	342		
		項目	値															
基準値 (R3)	7																	
1年目標 (R4)	132																	
2年目標 (R5)	342																	
基準値・実績値	7	132	342	増加 (令和3年10月～令和13年9月の累計)	—													

578

578  
 579  
 580 【総評（案）】  
 581 SDGs 推進目標 1 について、【離島・過疎地域人口社会増数】については、離島地域、過疎  
 582 地域ともに増加している。沖縄県では、これまで離島地域の活性化を図るため、各種の離島  
 583 振興策を進めてきたものの、離島地域は、経済、行政などの中心から遠く離れ（遠隔性）、  
 584 広大な海域に散在しており（散在性）、人口規模や市場規模が小さい（狭小性）といった条  
 585 件不利性から、住民生活を圧迫し、産業振興の制約となっている割高な移動コストや輸送コ  
 586 スト、行政サービスの高コスト構造、教育、医療、福祉等の基礎的な生活条件の整備や産業  
 587 振興の遅れなど、様々な分野で課題を抱えており、若年者の流出や急速な高齢化の進行等  
 588 により地域活力の低下が懸念されている状況にある。離島の持つ活力の維持・向上に向けて、  
 589 観光リゾート産業、農林水産業、食品加工業、伝統工芸等、地域の特色を生かした産業の振  
 590 興を図るなど、総合的な離島振興策を推進していくことが求められている。

591 優先課題⑪-SDGs 推進目標 2  
 592 （世界のウチナーンチュとの交流が活発に行われ、次世代へ安定的に継承されていく環境の  
 593 形成を実現する。）

594

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ								
2	世界のウチナーンチュとの交流が活発に行われ、次世代へ安定的に継承されていく環境の形成を実現する。	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）	件	横軸	基準値（R3）	1年目標（R4）	2年目標(R5)	目標値（R13）		<p>達成度 22.7%</p> <p>目標値(R13) 66,015件</p> <table><tr><th>項目</th><th>値</th></tr><tr><td>基準値(R3)</td><td>16,015</td></tr><tr><td>1年目標(R4)</td><td>27,442</td></tr><tr><td>2年目標(R5)</td><td>27,054</td></tr></table>	項目	値	基準値(R3)	16,015	1年目標(R4)	27,442	2年目標(R5)	27,054
				項目	値													
基準値(R3)	16,015																	
1年目標(R4)	27,442																	
2年目標(R5)	27,054																	
基準値・実績値	16,015	27,442	27,054	66,015	22.1%													

595

596

597 【総評（案）】  
 598 SDGs 推進目標 2について、【世界のウチナーネットワークサイトのアクセス数（累計）】  
 599 は、積極的なイベント等の周知により増加している。  
 600 沖縄県では、世界各地のウチナーンチュが沖縄県に集う「世界のウチナーンチュ大会」を  
 601 5年毎に開催している。加えて、ハワイ沖縄県人会がハワイ・ホノルルで開催する「沖縄フ  
 602 ェスティバル」へ県・市町村の首長や経済界トップ層が参加するなど、世代や人種を超えて、  
 603 県内外・世界とつながる多様な交流が継承されている。  
 604 また、沖縄県立図書館では、世界各地のウチナーンチュからの依頼を受けてルーツを辿る  
 605 「沖縄県系移民一世ルーツ調査・相談サービス」を行っており、日本でも先進的な取り組み  
 606 である。  
 607 世界のウチナーンチュとの持続的な関係強化に向けて、移住の歴史に関する教育の実施・  
 608 中南米諸国をはじめとする移住地との経済交流の活性化などを通して、共創の場を広げてい  
 609 くことが求められている。

610 優先課題⑪-SDGs 推進目標 3

611 (伝統文化・歴史・伝統行事を若い世代が継承し、世代や国を超えた発信を行い、多様な交  
612 流が広がっている社会を実現する。)

613

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
3	伝統文化・歴史・伝統行事を若い世代が継承し、世代や国を超えた発信を行い、多様な交流が広がっている社会を実現する。	県内文化施設の稼働状況	%	横軸	基準値 (R2)	1年目値 (R4)	2年目値(R4)	目標値 (R13)		<p>達成率 68.3%</p> <p>目標値 (R13) 65.7%</p>
				基準値・実績値	31.6%	54.9%	54.9%	65.7%	68.3%	
		県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率	%	横軸	基準値 (R3)	1年目値(R4)	2年目値(R5)	目標値(R13)		<p>達成率 78.6%</p> <p>目標値 (R13) 76.0%</p>
				基準値・実績値	36.8%	30.8%	30.7%	76.0%	-15.6%	

614

615

616 【総評 (案)】

617 SDGs 推進目標 3について、【県内文化施設の稼働状況】は前進しており、文化芸術活動の  
618 基盤を強化するため、引き続き文化発信交流拠点の充実に取り組む必要がある。

619 今や世界中で 1 億人以上の愛好家がいるといわれる「空手」の発祥の地である沖縄県で  
620 は、沖縄空手を独自の文化として保存・継承・発展させるため、「空手発祥の地・沖縄」を  
621 国内外に発信し、空手の真髄を学ぶ拠点として、「沖縄空手会館」を 2017 年 3 月 4 日に開館  
622 し、様々なイベントを開催している。しかしながら、「『空手発祥の地・沖縄』の認知率」は  
623 後退しており、普及イベントのみならず、SNS の活用や沖縄空手映像コンテンツ制作等によ  
624 り「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信するなど幅広く情報発信を行う必要がある。

625 優先課題⑪-SDGs 推進目標 4  
 626 (多様な文化やスポーツ等の活動や交流、地域の資源を活かした、地域活性化や産業振興、  
 627 国際交流を実現する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
4	多様な文化やスポーツ等の活動や交流、地域の資源を活かした、地域活性化や産業振興、国際交流を実現する。	スポーツコンベンション開催における消費額	億円	横軸	基準値 (R2)	1年目値 (R3)	2年目値 (R4)	目標値 (R13)		<p>達成率 55.4%</p> <p>目標値 (R13) 200億円</p>
				基準値・実績値	32	45	125	200	55.4%	
		県が支援した文化交流イベントの参加者数	人	横軸	基準値 (R1)	1年目値 (R4)	2年目値 (R5)	目標値 (R13)		<p>達成率 -109.8%</p> <p>目標値 (R13) 131,000人</p>
				基準値・実績値	73,493	26,005	10,356	131,000	-109.8%	

629  
 630  
 631 【総評 (案)】  
 632 SDGs 推進目標 4 について、沖縄においては、伝統文化や芸能の継承が学校教育や社会教育  
 633 の場で積極的に取り組まれており、小中学生が地域の祭りや自治会活動に参加するなど、  
 634 世代を超えて地域とつながる実践が広がっている。さらに、各分野でのスポーツにおける活  
 635 躍は県民の誇りとなり、文化・スポーツを通じた交流が世代や人種を超えて継続している点  
 636 は、沖縄の大きな強みである。  
 637 また、部活動の地域移行の流れを文化・スポーツ振興に積極的に活用することも有効と考  
 638 えられる。今後は、社会教育の活性化や自治会と公民館の連携強化、中高生の地域活動支援、  
 639 学校教育における探求・総合学習への文化継承の導入を推進するとともに、社会全体で地域  
 640 文化・芸能を維持・支援する仕組みの構築が求められる。  
 641 さらに、県民意識調査において外国人との交流に関する充足度が高い状況を踏まえ、多文  
 642 化共生と国際的な交流の深化が期待される。

643 優先課題⑫

644 世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パー

645 トナーシップ

646

647 優先課題⑫-SDGs 推進目標 1

648 （沖縄の技術や経験を世界の島しょ地域に発信・共有することで国際貢献を促進する。）

649

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目標	2年目標	目標値	達成度	経年変化グラフ
1	沖縄の技術や経験を世界の島しょ地域に発信・共有することで国際貢献を促進する。	国際協力・貢献活動に関わった海外研修生受入団体数	団体	横軸	基準値(R3)	1年目標 (R4)	2年目標(R5)	目標値 (R13)		
				基準値・実績値	18	24	27	28	90.0%	

650

651

652 【総評（案）】

653 SDGs 推進目標 1 について、沖縄が島しょ地域として培ってきた知見・技術、海外の県系人

654 を含めた多様で持続的な人的関係等を生かして、JICA や県内高等教育機関等において、環

655 境、エネルギー、水道及び土木建築、農林水産、保健衛生、防災等の多様な分野において、

656 アジア・太平洋地域をはじめとする世界の島しょ地域等との国際協力活動を国内外で展開し

657 てきたことが、【国際協力・貢献活動に関わった海外研修生受け入れ団体数】の増加につな

658 がっていると推察される。

659 一方、県民意識調査では国際協力への関心が相対的に低い傾向がみられるため、社会的・

660 経済的メリットの周知や理解促進が課題である。

661 気候変動や防災、海岸漂着ごみ等の課題に対して、沖縄の地理的な特性や独自性を活かし

662 た国際協力・貢献活動を推進するため、県と JICA との間で締結した連携協定を生かし、引

663 き続きアジア・太平洋地域をはじめ開発途上国に対する人材育成支援や技術の移転などに、

664 継続して取り組む必要がある。



665 優先課題⑫-SDGs 推進目標 2  
 666 (世界各国との技術交流の推進を通じて、グローバル・パートナーシップを促進する。)

No.	SDGs推進の目標	ローカル指標	単位		基準値	1年目値	2年目値	目標値	達成度	経年変化グラフ
2	世界各国との技術交流の推進を通じて、グローバル・パートナーシップを促進する。	国内外におけるウチナーネットワークの強化を推進する取組数	件	横軸	基準値 (R3)	1年目値 (R4)	2年目値(R5)	目標値 (R13)		<p>達成率 2.9%</p> <p>目標値(R13) 56件</p> <p>基準値(R3) 22, 1年目値(R4) 34, 2年目値(R5) 23</p>
				基準値・実績値	22	34	23	56	2.9%	

667  
 668  
 669 【総評（案）】

670 SDGs 推進目標 2について、【国内外におけるウチナーネットワークの強化を推進する取組  
 671 数】は横ばいとなっている。沖縄県は、我が国有数の移民県であり、42 万人といわれる世  
 672 界に広がるウチナーンチュ（県系人）を中心とした「沖縄への強い思い」を基礎として形成  
 673 されるネットワークは、沖縄の文化等の継承と発信、そして平和や経済等を含む地域外交の  
 674 推進の観点でも重要な役割を担っている。また、沖縄県がこれまで推進してきた海外向けの  
 675 各種施策を通じて培ってきた人的ネットワークや、県内在住外国人や在住経験のある外国人  
 676 とのつながりは、今後の沖縄の地域外交における重要な資源（リソース）である。

677 国内外で活動する関連団体、海外と沖縄が相互に往来する研修員や派遣協力員、世界の  
 678 ウチナーンチュ（県系人等）等の関係者が相互に交流・連携し、持続的な関係を構築するた  
 679 めにも、沖縄県、市町村、県内企業、N G O、市民など様々な主体において、多様な分野の  
 680 国際的な活動を主体的及び積極的に取り組むことが重要である。

681